

男性育児・家事推進セミナー2021 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、男性育児・家事推進セミナー2021において、受講者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 男性育児・家事推進セミナー2021 受講者全員
- 3)調査方法 男性育児・家事推進セミナー2021 終了後、Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2022年1月19日(水)～2022年1月21日(金)

■ アンケート集計結果

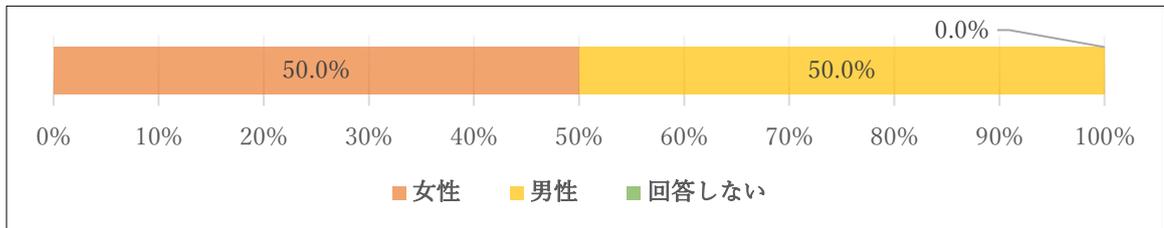
回答数 対象者 30名、回答者 16名

回答率 57.1%

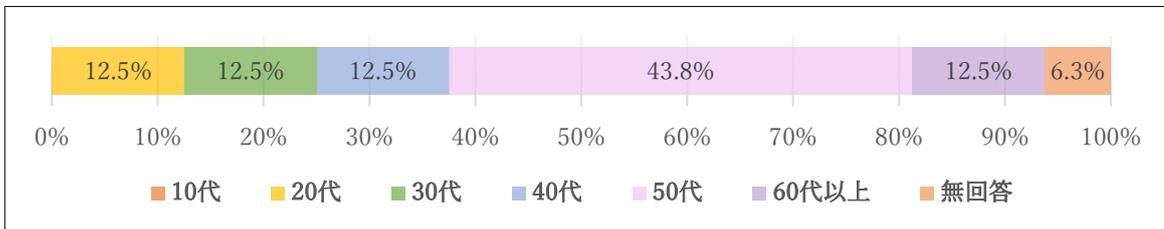
■ アンケート調査結果

回答者の属性

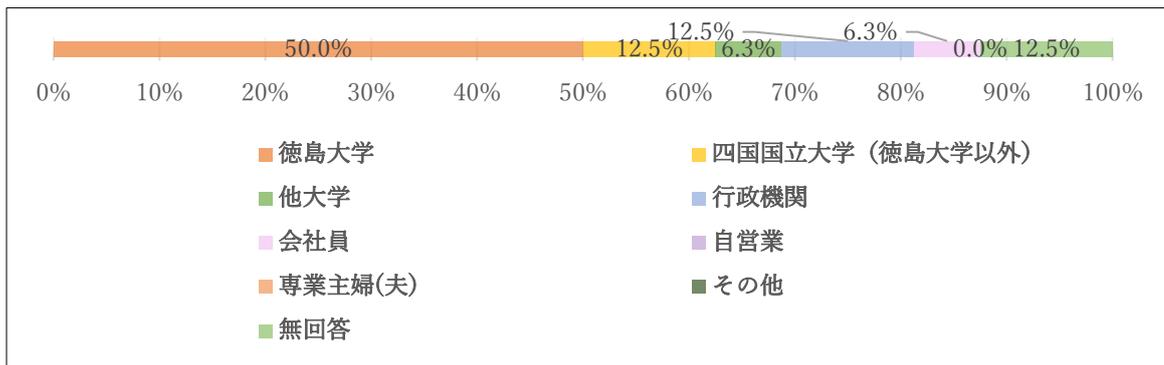
◆性別



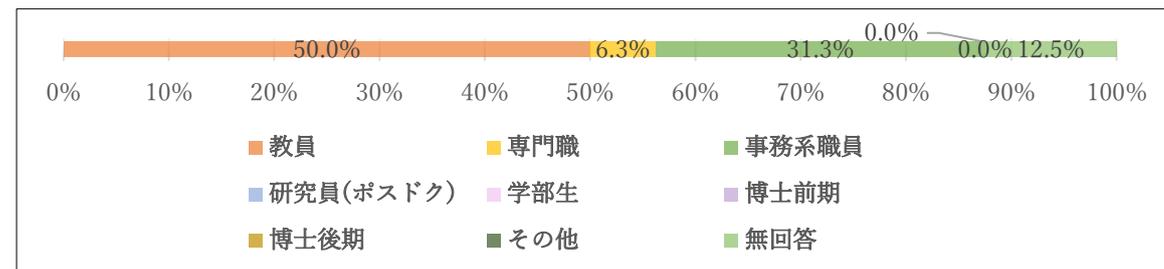
◆年齢



◆所属

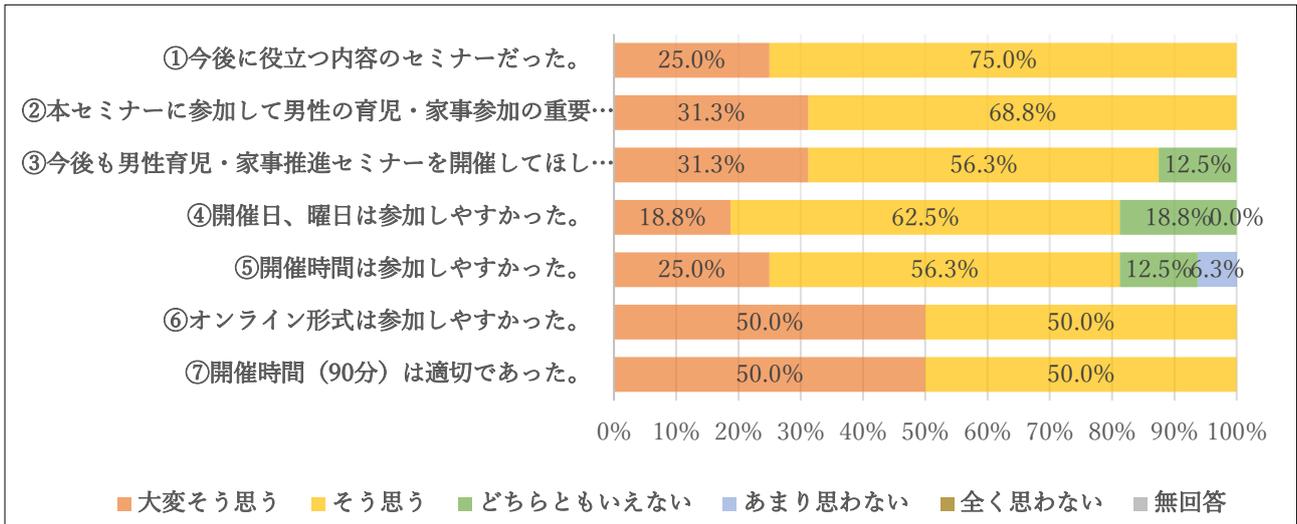


◆職種



回答者の性別では、女性が 50.0%、男性が 50.0%と同数で、年齢は 50 代以上が 56.3%と過半数であった。所属は、徳島大学が 50.0%で、四国国立大学、行政機関が合わせて 25.0%であった。職種は、教員が 50.0%と最も多く、次いで事務系職員が 31.3%であった。

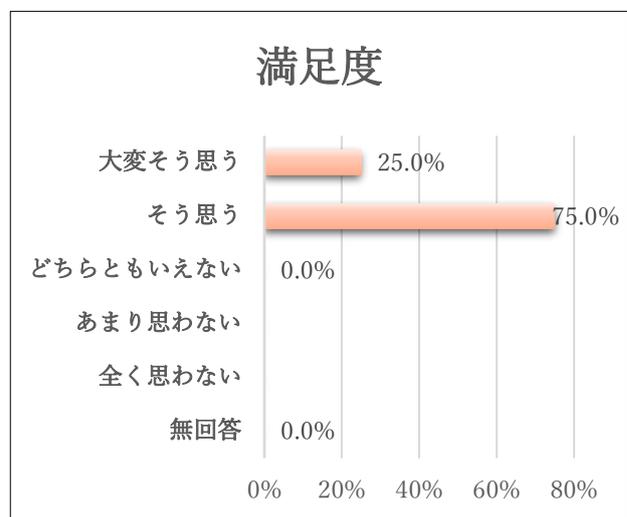
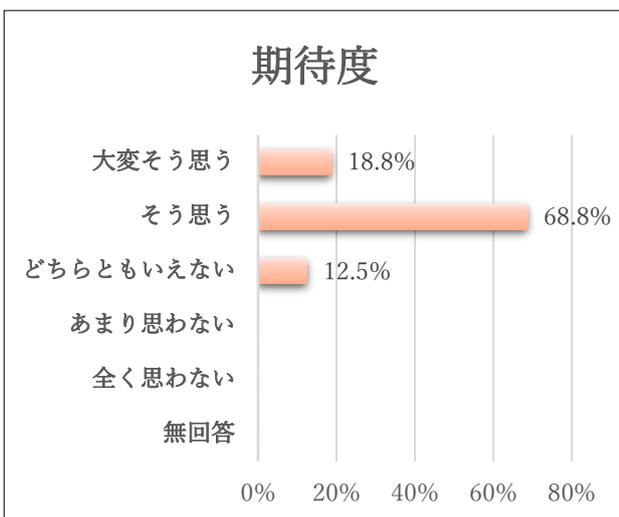
問 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『今後に役立つ内容のセミナーだった』に対しても、『本セミナーに参加して男性の育児・家事参加の重要性を理解した』に対しても 100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答、また『今後も男性育児・家事推進セミナーを開催してほしい』に対して 87.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、セミナーへの評価やニーズはともに高かった。開催形式については、『開催日、曜日』81.3%、『開催時間』81.3%、『オンライン』100.0%が『参加しやすかった』に対して、『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『講義時間(90分)は適切であった』に対して、100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、参加しやすい開催形式であったと考えられる。

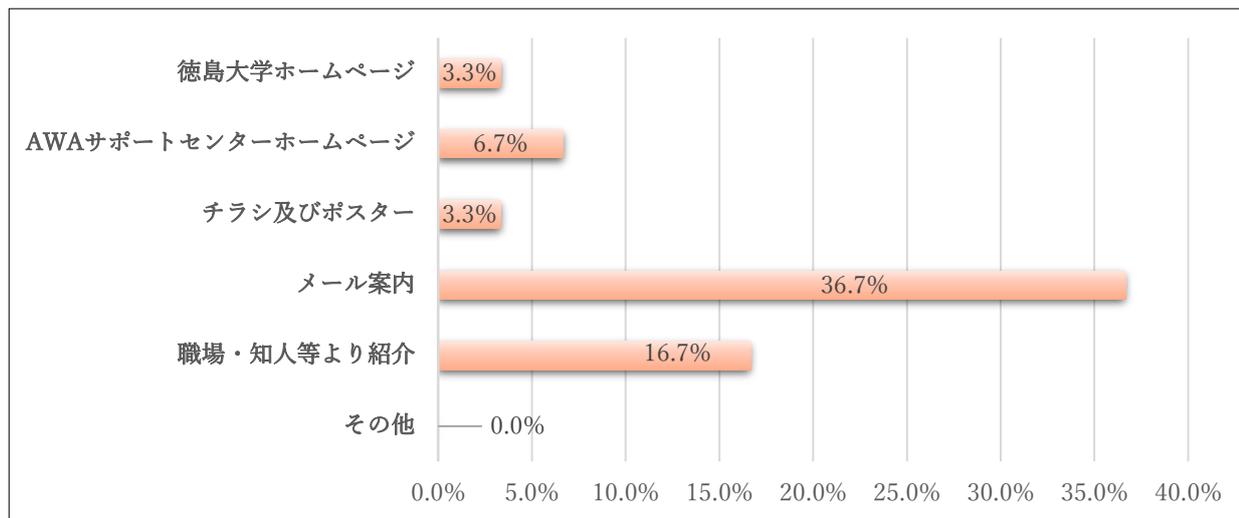
・本セミナーに期待していた。

・本セミナーは期待どおりだった。



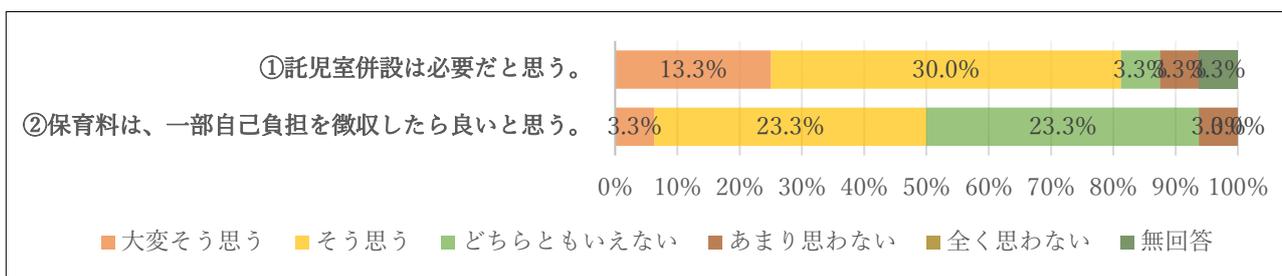
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、87.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、100.0%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は4.1点、満足度は4.3点であった。

問 男性育児・家事推進セミナーの開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催を知った方法については、『メール案内』が36.7%と最も高く、次いで『職場・知人等より紹介』が16.7%と高かった。

問 オンラインで業務時間外のセミナーを開催する場合の託児についておうかがいします。



オンラインで業務時間外のセミナーを開催する場合、『託児室併設は必要だと思う』に対して、43.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答していた。『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、26.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、26.6%が『どちらともいえない』と回答しており、保育料の一部自己負担については見解に相違が見られる。